

『平成29年度 北九州市・南九州市子ども交流事業』を終えて・・・

北九州市と南九州市の小学5年生から高校1年生までの子どもたちが、北九州市で環境ミュージアム、いのちのたび博物館を見学し、今年オープンしたミニワールドスタジアムでサッカーをしました。また、千仏鍾乳洞を体験し、夜にはキャンドルサービスを行うなどたくさんの体験活動をしました。素晴らしい夏の思い出と、遠く離れた土地にかけがえのない友だちができました。来年は、南九州市に行きます。

中学2年男子

《参加前》

「二回目の南北交流事業について」

今回で四年目になる南北交流事業ですが、まだ中二なので、また次も参加したいと思います。高校生になったら、ボランティアとしてまたチャレンジ100キロなどにも参加したいです。

自分は、他人と話すことは苦手ですが、こういう風なイベントでは、何となくですが話せますので、このイベントを計画してくれた方々、心から感謝しています。そして、去年仲良くなった人たちとまた会えるのを楽しみにしています。次は、行けるかどうかわかりませんが、りゅうりゅうやげんげんなどのボランティアさんと一緒にこういうイベントをやりたいと思っています。

《参加後》

「楽しかった南北交流事業を終えて」

今回で二回目となる、この交流事業ですが、南九州市に行ったときは、同じ班や違う班の人たちと仲良くできましたが、今回残念ながら、同じ班の人とあまり仲良くなれませんでした。ほかの班の人たちと仲良くできたのでそれは、それでべつにいいかなあと思いました。みんなと一緒にカードゲームなどをして、楽しい夜をすごせました。なっかー（参加者のお友達）を中心として、男子で、火の守エンジンを考えたりなどしながら就寝時間が来るまでしていたのですごく楽しい時間をすごすことができました。そしてなんとといっても、ハリー（ボランティアリーダー）のレクリエーションがすごく楽しかったです。一日目のなぞときは、みんなで協力でき、そしていい感じの難しさでとてもすばらしかったです。二日目のキャンドルのつどいの前のみんなで声を出したのもたのしかったです。また、来年これることをねがっています。

中学2年女子

《参加前》

「親善大使として」

私は、去年に引き続き二年目の参加です。去年は南九州市へ伺い、皆さんと交流させていただき、忘れられない思い出をたくさん持って帰りました。初めて南九州市を訪れた時のあのワクワクした気持ちを、今度は南九州市の友達が抱いてくれると思うと、私たちが精一杯北九州市の良いところを伝えなければならないという使命感を感じています。去年あった友達にまた会えるのを楽しみにしています。そして今年もまた、親善大使として北九州市と南九州市の交流を深めたいと思います。

《参加後》

南北交流事業を終えて

今回、二年続けて参加させていただき、そしてお世話になり、本当にありがとうございました。昨年の南北交流事業で関わりが少なかった人、あまり話せなかった人などと、二年目で仲を深める事ができました。最初の環境ミュージアムでの出会い方、迎え方など、わかりやすい指導をしていただいたため、南九州市、北九州市の方々と仲良くなれました。

いのちのたび博物館では、昔の時代の生物などを学び、班行動によって友達が増え、すばらしい体験になりました。ハリーさんが考えてくれたレクリエーションは、班の方々全員と協力でき、一番仲が深まった機会だったと思いました。謎を解くレクリエーションは、一番楽しかったうえ、一番協力できました。なので、こういうレクリエーションは是非今後も続けてほしいと思いました。三日間、本当に楽しくて、来てよかったです。本当にありがとうございました。

小学6年女子

《参加前》

「二年目の親善大使」

去年同様、今年も交流事業の季節になりました。去年はいいところを紹介してもらったけれど、今年はいいところを紹介する側になりました。このようにしていいところを紹介するのは初めてなので去年とは違う形で緊張しています。

ですが、南九州の人も、私たちとは違う形で緊張していると思うのです。初めてのところは誰でも緊張すると思いますが、私たちが緊張しては、あちら側もより緊張してしまうと思います。なので、私達北九州親善大使がおびえては何もはじまらないと思うのです。ですので、失敗を恐れずに今年も親善大使に挑もうと思ったのです。去年とは違う緊張ですが、全身全霊で今年も親善大使に挑みたいと思います。

《参加後》

「一年ぶりの再会」

ウェルカム トゥ 北九州！その一言で2017年の北九州市・南九州市子ども交流事業が始まりました。最初は緊張で、舌がうまく動かせませんでした。三日間みんなと行動するうちに仲良くなり、話をずっとしていられるような仲になりました。

歓迎式での言葉で私が失敗しても、みんなとても温かい目で見守ってくれました。その時はとても心強く、勇気が湧いてくるようでした。

もうこのメンバー全員と再会することはないと思いますが、この思い出を心に刻み、一生ものの宝物にしたいと思います。みなさんがこの思い出を心に刻み、いい思い出だったと思い、一步一步進歩していきますように。

中学3年女子

《参加前》

「楽しみな交流事業」

私は昨年病気で入院し、交流事業に参加できませんでした。事前講習からずっと楽しみだった交流事業に行けず、とても悲しかったです。なので、昨年できなかった分を今年楽しみたいです。

私は、楽しみなことが一つあります。それは友達と会うことです。理由は、昨年の事前講習で、友達ができたのにいっしょに鹿児島に行けなかったからです。そんな悲しかったこともあったけど、今年も親善大使として、楽しみながら学びたいです。

《参加後》

「初めての交流」

私は、今回の交流が初めてでした。はじめは知らない子といっしょに、泊まったり、食事したりは、不安だったけど、最後の日にはまだいっしょにいたいと思っていました。また来年も応募して、南九州市の友達とまた会いたいと思いました。今回三日間いっしょに生活して一番楽しかったのは千仏鍾乳洞です。いつもは入れないので、とても楽しかったです。この三日間、南九州市の友達と生活できてよかったです。